

- 正しい施工をしていただくため、必ずお読みください。
- 施工するには消防設備士（甲種第4類）の資格が必要です。
- 施工後、必ず施主様に商品説明をしていただき、施工説明書をお渡しください。
- 万一、施工説明書にしたがわず施工された場合の事故や故障などについては責任を負い兼ねることがあります。
- 火災などによる損害は責任を負い兼ねますのでご了承ください。

### 安全上のご注意

### ■必ずお守りください

## 警告



禁止

受信機（RX1200システムの場合は分散処理盤含む）、防排煙連動操作盤の電源（AC100V）を切り、電池を取り外した状態で施工する。活線工事は感電や故障の原因となります。

商品を分解したり、修理・改造は絶対にしない。故障の原因となります。

### 施工する前に

- 2秒以上の通電を必要とする瞬時作動型以外の自動閉鎖装置には接続できません。
- 連動中継器（切換器）は、動作中、継続して定格電流を消費します。使用する複合受信機、防排煙連動操作盤などのロック接続容量以下となるように、連動中継器（切換器）の接続個数と自動閉鎖装置の同時制御負荷容量をご検討ください。
- 定格順送りの遅延時間は2秒ですが、点検などで復旧後、すぐに起動させると内部回路の放電が行われないため、遅延時間が1秒程度に短縮します。続けて通電することは避けてください。概ね1分以上空けることでもとに戻ります。

### 施工上のご注意

- この商品には極性があります。各配線の接続を間違えないようにしてください。極性を間違えると正常に動作できません。
- 連動中継器（切換器）のリード線は、強く引かないでください。リード線を強く引くと機器に損傷を与える場合があります。
- 商品の設置は点検上便利な位置に設け、防火上有効な設置を施してください。
- 振動の激しい場所・湿気の高い場所・腐食性ガスの発生するおそれのある場所には取り付けしないでください。故障の原因となります。

### ■施工時のご注意

- 電線接続部は圧着スリーブなどで行い、絶縁処理をしてください。電線をよじっただけでは、長期使用中に電線表面が酸化不良をおこし、誤動作の原因となります。（未使用電線も絶縁処理してください。）



圧着スリーブ処理

- ボックスに取り付ける場合は、配線をカバー・枠などに挟み込むことによる絶縁不良が発生しないように十分注意してください。配線の地絡が発生すると、正常に機能できなくなり故障の原因となります。

### 施工後の確認方法

- 施工後、作動試験を実施してください。作動試験では、複合受信機、防排煙連動操作盤などから起動制御を行い、自動閉鎖装置が正常に順送り動作することを確認してください。

### ■定格

|           |               |
|-----------|---------------|
| 定格電圧・電流   | DC24V 0.03A   |
| 接点容量      | DC30V 3A      |
| 遅延時間      | 2秒            |
| 動作電圧範囲    | DC19.2V～DC30V |
| 回線あたりの接続数 | 5コ            |
| 質量        | 約70g          |
| 材質        | ABS樹脂（ボディ）    |

### 付属品

- 施工説明書（本紙）……………1枚
- カバープレート……………1コ
- M4×16ネジ……………2本
- ワッシャー……………2コ
- M3×10タッピングネジ……………2本

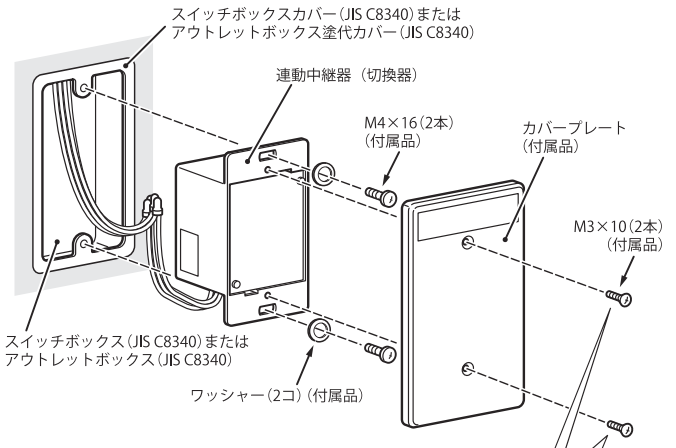
### ボックスへの取り付け

- ① 結線し、連動中継器（切換器）を付属のネジでボックスカバーに固定する。



順送りタイマーのリード線が下向きになるように取り付けてください。

- ② カバープレートを付属のネジで連動中継器（切換器）に固定する。



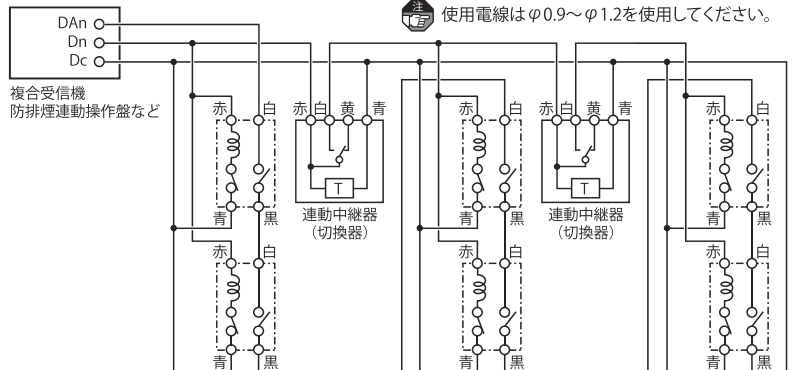
M3×10タッピングネジは、カバープレートのネジ受け部が破損しないように締め付けてください。（適正締め付けトルク：0.3N・m（約3.06kgf・cm）以下）

### 接続方法

- 下図の2方法のいずれかで接続してください。
- 下図の結線図は、全端末作動で受信機に作動表示される場合の結線図の例です。

#### ① 一般的方法

〔自動閉鎖装置が作動後に通電電流を自己遮断する自動閉鎖装置の場合〕



#### ② 自動閉鎖装置への通電を切り離して送る場合

〔自動閉鎖装置が作動しても通電電流が切れない自動閉鎖装置の場合〕

